

シルバー とつきょう

No. 349

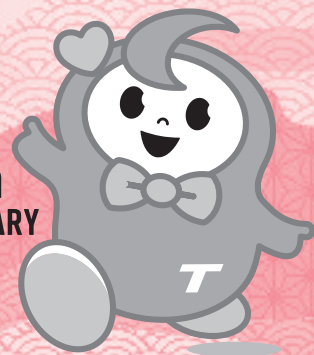
2026.1.15

CONTENTS

- 02-04 Tokyo シルバー 50 周年フェス
シニアの力、地域と共に 50 周年～未来につなぐ！
開催しました
- 05 令和7年度上半期事故概況
- 06-09 令和7年度 シルバー人材センター安全大会
安全就業に関する事例発表会
目黒区シルバー人材センター
基調講演「安全就業に関する共同研究およびシルバーの介護予防効果」
- 10-11 令和7年度 自主事業新設支援事業
シルバー人材センターの多様な求人開拓の強化
「トライアル就業」の事例紹介～調布市シルバー人材センター～
- 12 適正就業のポイント
シルバー人材センター等労働者派遣事業
- 13 サイバー保険のご案内
- 14 シルバー人材センターに入会しませんか
●これからシルバー応援フェスタ ●高齢者活躍人材確保育成事業
- 15 会員向け技能講習
シルバー人材センター役職員研修
福祉・家事援助サービス事業担当者交流会

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

TOKYO
SILVER
50th
ANNIVERSARY



50 Years of Progress — The Challenge Continues



東京都シルバー人材センター連合は、都発祥(江戸川区)の「シルバー人材センター」が昭和50年に誕生し、今年50年の節目を迎えることから、これまでの歩みを振り返るとともに、次の50年に向けたセンターの役割や存在意義を広くPRするイベントを10月

23日(木)、東京ドームシティプリズムホールで開催しました。

当日、会場には東京都知事ほか関係者の皆様、都内シルバー人材センター関係者、一般のお客様など、1,331人にお越しいただきました。

イベントは東京しごと財団や都内シルバー人材センター関係者を対象とする記念式典と、広く一般のお客様にご覧いただける記念イベントの2部構成で行われました。

記念式典



東京都・小池知事



中澤理事長



厚生労働省・藤川審議官



全シ協・西島会長

Tokyoシルバー 50周年フェス

シニアの力、地域と

記念イベント

シルバー人材センターブース

記念イベント会場では、東京都内の全58センターが一堂に集結し、各センターの事業や日頃の活動の紹介、センターの会員さんたちが丹精込めて作成した手作り小物やリフォームウェアなどの販売会、シルバー人材センターの相談会などバラエティに富んだブースを出展しました。一般のお客様はもちろん、出展者として来場された会員の皆様も、個性豊かなブースを回り、交流を深めました。



日野市シルバー人材センター
カルチャー教室の紹介や日野市の名産品を販売



世田谷区シルバー人材センター
センター紹介と色とりどりの手作り
布ぞうりを販売



羽村市シルバー人材センター
所狭しと並べられた手芸品の物販
とポスターでセンターをPR



墨田区シルバー人材センター
来客と受け答えのできる対話AIキ
ャクターシステムの展示と体験会



杉並区シルバー人材センター
スマホお困り相談&日常で役立つ
アプリを紹介しました

記念式典では、冒頭、東京都知事・小池百合子氏や東京しごと財団・中澤理事長、厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用開発審議官・藤川眞行氏、全国シルバー人材センター事業協会会長・西島喜義氏にご挨拶をいただきました。

基調講演



塚本成美氏

基調講演では、城西大学経営学部マネジメント総合学科教授・東京しごと財団理事の塚本成美氏が「シルバー人材センターの原点と新しい社会」と題し、シルバー人材センターが誕生した背景から、高齢化社会が進行する中、シルバー人材センターが求められる新たな役割について解説いただきました。

記念講演



桂宮治氏

記念講演では、落語家の桂宮治氏にご登壇いただき、「落語とコミュニケーション術～明るい所に花は咲く～」のテーマのもと、ご自身の生き立ちや化粧品の実演販売をしていた頃、落語に出会ってからのご経験で培われた様々なコミュニケーション術、中でも笑顔で積極的に話しかける、いろいろな人と関係を築いていくことの大切さについてお話をいただきました。

ともに50周年～未来へつなぐ！

イベントステージ

イベントステージでは、ダンスやコーラスなど、普段からサークル活動で研鑽を積んだ会員の皆様のパフォーマンスが披露されました。

特に、イベントステージのトリを飾った狛江市SCチャームーズによるダンスのフィナーレでは、東村山市SCの盆踊りチームが飛び入り参加し、観客を含め、会場が一体となって盛り上がりました。



「ギザギザハートの子守唄」に合わせて全員で盆踊り！



港区シルバー人材センター
コーラスボランティア 野ばらの会



三鷹市シルバー人材センター
ダンスサークル「Let's Dance Mitaka Silver」



墨田区シルバー人材センター
健康増進のための「すみだ花体操教室」の実演



東村山市シルバー人材センター
シルバー踊りの会



北区シルバー人材センター
コーラス同好会「歌って踊って長生きし隊」



狛江市シルバー人材センター
ダンスクラブ「チャームーズ」

50周年関連動画

50周年を記念し、3本の動画を作成しました。この動画は式典の前に放映したほか、特設サイトでもご覧いただけます。



東京シルバー人材センター創設50周年記念 ～58センター会員メッセージ～

東京シルバー人材センターの50周年を記念し、都内全58センターの会員の皆様に「あなたにとってのシルバー人材センター」を語っていただきました。個性豊かなコメントをお楽しみください。



東京シルバー人材センター50年の歩み ～ロングバージョン～

東京都発祥のシルバー人材センターが江戸川区に誕生してから今に至る歩みを3分でご紹介します。

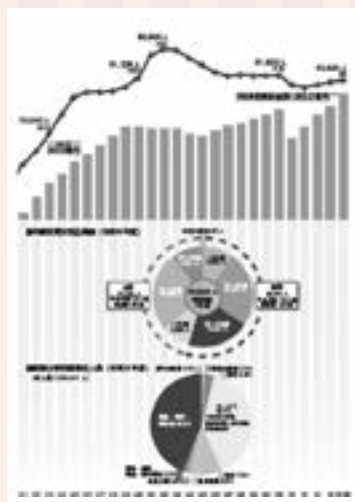
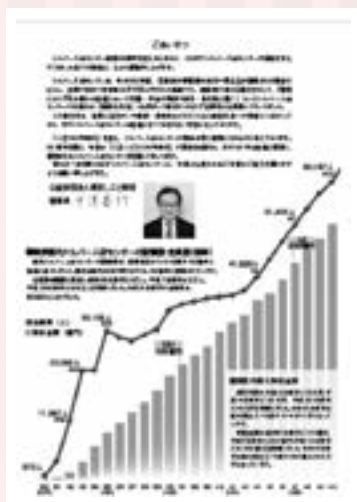
東京シルバー人材センター50年の歩み ～ショートバージョン～

東京都発祥のシルバー人材センターが江戸川区に誕生してから今に至る歩みを42秒でコンパクトにご紹介します。



50周年記念パンフレット

東京都シルバー人材センター50年間の歴史をグラフや写真を使ってコンパクトに紹介したパンフレットです。



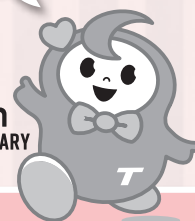
50周年記念ノベルティグッズ



式典では50周年ロゴ入りの「タンブラー」と「トートバッグ」を、アンケートに回答いただいた方にはツボ押しグッズ「つぼコロリ」をお配りしました。

これからも
地域と共に!

TOKYO
SILVER
50th
ANNIVERSARY



Tokyoシルバー50周年フェスは皆さまのご協力のもと、盛況のうちに終了することができました。都内58センターも今後、次々と50周年の節目を迎えてまいります。連合としては、この50周年を単なる通過点とするのではなく、「次なる半世紀」に向けた新たな飛躍の出発点と位置づけ、多様化する地域ニーズに対応できる新しい就業機会の開拓にも、積極的に挑戦してまいります。

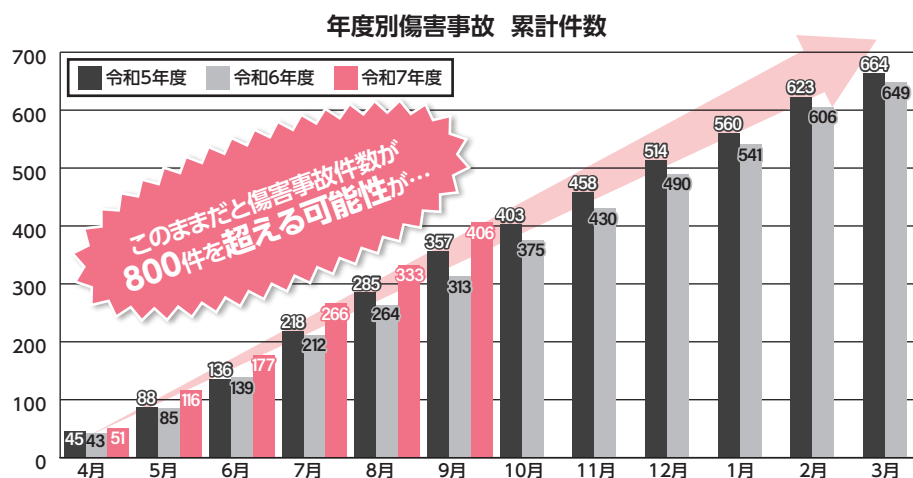
令和7年度上半期の事故発生状況は危機的状況

フレイル予防や一人KY活動を推進して事故の発生を防ぎましょう!

令和7年度(4月～9月)事故概況

傷害事故は406件発生し、大幅増加となっています(前年同期比29.7%・93件増)。この状況が続くと年度末には800件前後の事故発生件数が見込まれ、過去10年間で最も多かった令和5年度(664件)を上回る勢いです。また、これまでと同様に「転倒事故」が148件と最も多く、傷害事故の36.5%を占めています(前年同期比37.0%・40件増)。

「転倒事故」防止については、全センターが重要な課題と認識して様々な対策に取り組んでいます。今後は他のセンターの取り組みも大いに参考にしながら更に一歩踏み込んだ取り組みが必要になっています。



R6/R7上半期「転倒事故」件数比較



フレイル予防

転倒事故は、会員の加齢によるフレイルに起因していることも考えられ、会員の体力づくりや健康管理がより重要になります。特に会員一人一人が「フレイル予防」を習慣化して、自らの心身の状態をよく把握していくことが大事で、多くの会員が取り組んでいく仕組み作りが必要になります。

取り組み例として、フレイルチェックシートを会員に送付し自己チェックを促しているセンターがあります。ここでのポイントは、「フレイルチェックを定期的に継続して行い、会員が自身のからだの状態の変化を気付くことができること」で、非常に重要なことです。

「フレイル予防」をキーワードとして、センター独自の転倒予防の取り組みに加え、区市町村やその他関係機関の様々なプログラムへの参加をホームページや会報等で周知・啓発して、多くの会員が「フレイル予防」に取り組む機会を提供することを積極的に推進してください。

一人KY活動

就業現場で危険作業や危険箇所を回避する行動、KY活動の実践が傷害事故防止の第一歩となります。これに加え、グループ就業であっても、一人就業であっても、会員一人一人が就業現場で「一人KY活動」を実践することにより、「自分の身は自分で守る」ことを習慣化していくことが重要となります。

「一人KY活動」を会員に浸透させるためには、安全管理委員会やセンター事務局が一丸となって「一人KY活動」の推進・定着の役割を果たすことが不可欠です。就業前ミーティングや事務局による現場対応などあらゆる機会を活用して、「一人KY活動」の必要性を理解し実践していることを確認するよう取り組んでください。

「フレイル予防」及び「一人KY活動」を安全就業のキーワードとして、傷害事故を防止していくためには、会員一人一人がこれらの必要性をよく理解し、実践することが重要です。そのためには、会員同士や事務局職員による日頃からの「声かけ」や「注意喚起」を行うことが非常に重要になりますので、ぜひ実践してください。

令和7年度 シルバー人材センター

令和7年9月26日(金)、都内シルバー人材センターの役員、会員の皆様、関係機関の皆様、計98名に参加いただき、東京都しごとセンター地下講堂で「令和7年度シルバー人材センター安全大会」を開催しました。

中澤理事長の開会挨拶

安全就業活動は、長期間にわたり日々の安全計画の実践とその振り返り、更に実行計画の見直しを絶やすことなく繰り返していく「PDCAサイクル」を実行することで、より大きな効果を発揮します。本日の事例発表と基調講演は、皆様の日々の安全就業活動に大きく役立つと期待しております。

東京都で発祥したシルバー人材センターは、今年で50年の節目を迎えました。「人生100年時代」の到来を迎え、地域の高齢者が元気に働くことに寄り添ってきたシルバー人材センターを、次の50年も期待されるように発展させるべく、東京から元気を発信してまいりましょう。



理事長による開会挨拶

安全就業優良センターおよび安全就業標語の表彰

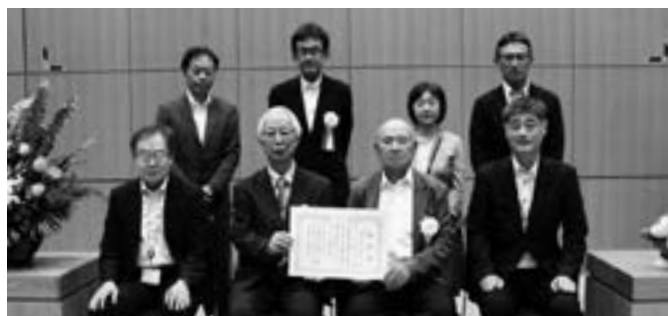
今年度の安全就業優良センターは4つのセンターで、「過去3年間に死亡事故及び重篤な後遺障害が残る事故がない」「度数率及び強度率が優良である」などの「安全就業優良シルバー人材センターの表彰基準」を満たし、表彰となりました。

また、安全就業標語は、応募総数3,429点から、最優秀賞2点と優秀賞8点が表彰されました。当日会場には最優秀作品をもとに作成した安全啓発ポスターを貼り出しました。

〈安全就業優良センター表彰：4センター〉



目黒区シルバー人材センター



練馬区シルバー人材センター



清瀬市シルバー人材センター



新島村シルバー人材センター

※表彰に続いて行われた目黒区シルバー人材センターの事例発表は8ページで紹介します。

安全大会

〈安全就業標語表彰〉



最優秀賞

写真前列中央
町田市佐々木様欠席のため
坂田会長が代理受領



最優秀賞

写真前列中央
青梅市武藤様



優秀賞

写真前左二人目から：
中央区植村様、杉並区呉様
後列左二人目から：
日の出町山田様、江東区野田様、檜原村杉田様
※八丈町青木様、小宮山様、杉並区宮田様は欠席

安全啓発グッズの展示

今年度も、講堂入り口前にて安全啓発グッズの展示を行いました。

各センターが独自に作成しているKYチェックリストや情報提供カード、就業ハンドブックなど、さまざまなグッズを展示し、来場者は他のセンターではどのようにして安全啓発が行われているのか、興味深く眺めていらっしゃる様子でした。



展示品の一例

安全宣言



事務局次長による安全宣言

財団事務局次長の読み上げに続き、皆様と「安全宣言」を共有することで、改めて日々の就業の中で「安全はすべてに優先する」の基本理念に立ち返りました。



安全宣言

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない
- 1 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する
- 1 事故の情報を分析し再発防止を徹底する

平成27年7月1日
東京都シルバー人材センター連合



閉会挨拶

令和7年9月に発表された東京都の高齢者の数は312万人と、前年と比べ3千人増加しました。多くの方にシルバー人材センターに入会してもらい、元気に活躍し続けていただくためには、「安全就業」が基本となります。今回の事例発表から得られたものをぜひ現場に持ち帰っていただき、安全就業の推進に役立ててください。

安全就業に関する事例発表

公益社団法人 目黒区シルバー人材センター



発表者の重田さん

①目黒区シルバー人材センターの概要

目黒区シルバー人材センターでは、男性647名、女性497名、合計1,144名(令和6年度末現在)の会員が日々就業しています。受注金額は、令和6年度末実績で、請負547,517,214円、派遣10,573,362円となっています。

②危機管理安全委員会の活動

危機管理安全委員会はく安心して働ける環境づくり>を基本目標として、年に7回委員会を開催しています。令和6年度は、危険予知活動の定着、安全支援員活動の活発化、危機管理体制の充実、健康づくり体制の整備に取り組んでまいりました。

③危険予知活動の定着

危険予知を定着させるため、「一人KY自問自答カード」や「安全就業ハンドブック」を配布しました。また、年6回「危機管理安全委員会ニュース」を発行して、健康管理や、安全就業についての情報を発信しています。

④安全支援員活動の活発化

地域班・就業グループより各1名選出した安全支援員で構成される「安全支援員会議」を年2回開催し、情報の共有を図っています。会議では発表された活動計画を参考に、地域班・就業グループで、「安全支援員活動計画」を作成しています。「予測される事故」と「事故発生の未然防止策」の内容を共有して、危険予知の意識を高めています。

⑤危機管理体制の充実

就業現場での「緊急時対応模擬訓練」を実施し、緊急時の管理体制や対応を確認し、就業に活用しています。また、大規模災害発生時にも事業継続や早い復旧が可能となるように、BCP(事業継続計画)の調査・検討を委員会で行っています。

⑥健康づくりの体制の整備

会員の安全就業推進と健康管理を図ることを目的として、毎年「健康診断等受診状況」の調査を実施しています。令和6年度の提出率は92%でした。その他にも、健康づくり講習会の実施や、毎年6月には、全会員に熱中症対策グッズを配布しています。(令和6年度は「塩タブレット」を配布)



認知症予防講習会



◀令和6年度に配布した熱中症対策グッズ「塩タブレット」

令和7年度の基本目標は、〈安心・安全な就業活動の向上と会員の健康維持・増進を図る〉として、事故防止・安全就業の確保、危機対応の向上、健康の維持・増進に努めて参ります。

安全大会基調講演

「安全就業に関する共同研究およびシルバーの介護予防効果」

今年度の安全大会でも、基調講演として公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団研究部長の石橋様にご登壇いただきました。今年度は2部制とし、第1部はダイヤ高齢社会研究財団と東京都連合の共同研究について、第2部はシルバーの介護予防効果についてご報告いただきました。第1部では、令和6年度に発生した事故の特徴について説明があった後、これまで取り組んできた安全対策の実施状況と実際の効果について分析した結果が報告されました。第2部では、シルバー人材センターにおける就業が介護予防へ効果があるのか、調査した結果について報告されました。

現在シルバー人材センターで取り組んでいる様々な安全対策と事故の発生との関係性については、客観的な視点で安全対策の「見える化」と安全対策の効果検証を数年にわたって取り組むとともに、会員の高齢化が進む今、シルバー人材センターでの就業が介護予防に効果的であるかについても検証してまいります。

第1部 共同研究の成果から

■安全対策の実施状況×事故の発生

どの安全対策が、その後の事故発生率に関連していたかを分析

令和4年安全対策実施状況

- 危険予知訓練
- 健康相談の実施
- 就業前の準備体操 等

その後3年間事故発生は？

- 度数率の平均
- 事故率が「低い」or「高い」

●安全対策を講じた結果、事故率が低下した対策例

- 自転車置き場への啓発チラシ掲示
- 高所作業就業会員と安全就業に関する懇談会の実施
- ヒヤリハット体験事例の募集と活用
- 安全強調日・安全の日・安全点検日等の設定

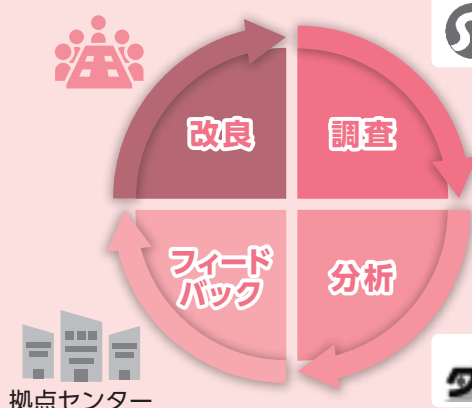
第2部 シルバーの介護予防効果

■シルバー人材センター会員への調査をもとに次の項目を報告

- 介護予防のターゲットとフレイル
- 高齢期の就業と介護予防（先行研究）
- 全シ協による全国調査

今後について

各センターは事故件数の低減に有効な対策を、自ら選択し、安全対策のPDCAサイクルの定着させる



公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)



公益財団法人
ダイヤ高齢社会研究財団

連合では、リスクヘッジの概念を取り入れた安全就業対策を展開しています。

より実効性を持つ安全対策とするため、現状の取り組みを調査し、取り組みと事故発生の現状との分析を行い、何が足りないのか改善点をフィードバック、新たな計画へと反映させていく、PDCAサイクルを基本とするリスクマネジメント体制の確立を進めています。各シルバー人材センターにおいても、安全管理委員会が中心となって体制を確立するとともに、会員一人一人が安全就業の担い手となるべく、安全対策を講じていきましょう。

令和7年度 自主事業新設支援事業

シルバー人材センター会員の経験やスキルを生かし、会員がいつまでも生きがいをもって活躍できるよう、財団では自主事業立ち上げを支援（初期費用の助成）しました。

令和7年度に自主事業を 新設したセンター

狛江市（2事業）、大田区、世田谷区、新島村、東村山市、瑞穂町、日野市、清瀬市、小金井市、西東京市、稲城市、板橋区、墨田区、葛飾区、国立市

※新設順

◆ 今年度新設された16事業をご紹介します。（★印は令和8年1月以降にオープン予定） ◆

「麻雀教室」事業

狛江市シルバー人材センター

内容

高齢者の健康維持と交流促進を目的に、楽しく学べる「麻雀教室」を開催します。麻雀は近年、単なる娯楽を超えて、脳の活性化や記憶力の向上、認知症予防にも効果があると注目されています。教室では、初心者の方も安心して参加できるよう、ルールを丁寧にレクチャーし、参加者間の人間関係や地域でのつながりが深まることを目的とします。

「じゃがバター出店」事業

狛江市シルバー人材センター

内容

狛江市ゆかりの人物・川田男爵（川田龍吉）にちなんで「男爵いも」に着目し、男爵いもを使った「じゃがバター」を市内のイベントや駅前で販売することで、地域の歴史と食文化を結びつけ、来訪者や地域住民に親しみやすい形で郷土の魅力を再発見するきっかけを提供します。

「小物づくり・販売」事業

大田区シルバー人材センター

内容

「小物づくり」を通じて女性会員に魅力的な就業機会を提供するとともに、「いくつになっても活躍できる環境」の整備を進め、超高齢化社会に対応します。会員が自宅などで製作した作品を販売できる仕組みを構築し、都内シルバー人材センターとして初の「オンライン販売」を実施します。



「動画編集講座」事業

世田谷区シルバー人材センター

内容

地域の高齢者からの「デジタルに強くなりたい」「新しいことに挑戦したい」などの学び直しの意欲に、一歩進んだ講座でお応えします。アプリを活用して旅行や家族の動画を編集できるスキルをレクチャー。会員が持つスキルや経験を活かせる就業機会の創出、地域へセンターの活動を周知し新規会員獲得につなげます。

★「カルチャー教室（健康麻雀・手芸・料理）」事業

新島村シルバー人材センター

内容

高齢者が頭や指先を使い、同世代の仲間と楽しみながら健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりにつなげます。人との距離が近い地域性を利用した口コミによるPRで、センターの活動周知も図ります。会員の経験や得意を活かした講座（健康麻雀・手芸・料理）を実施し、退会抑制や新規会員獲得を目指します。

★「スマイルアップ中学生（学習・生活支援サポート）」事業

東村山市シルバー人材センター

内容

会員の豊富な知識や経験・ノウハウを活かし、中学生新一年生の英語・数学補習教室を開講。生徒同士の交流やタブレットを活用したICT支援も行い、子どもに寄り添って学びをサポートします。事業を通して、各会員が中心となって取り組める就業機会・活躍の場を増やします。

★「健康麻雀サロン～楽しく脳トレ・仲間づくり～」事業

瑞穂町シルバー人材センター

内容

「認知症予防」「孤立防止」「生きがいづくり」などの町のニーズに、人気の健康麻雀でシルバーが対応。「健康麻雀＋交流＋学び」のサロンの事業として、初心者から経験者まで、ゆるやかに気軽に楽しめる地域の高齢者同士の交流場所を創出、センターのPR、会員数の増加を目指します。



★「ストップフレイル!いきいき体操教室」事業

日野市シルバー人材センター

内容

市の優先施策の一つでもあり、市民からも需要の高い「フレイル予防事業」を行うことで、地域の一助としての役割を担います。「運動・栄養・口腔・社会参加」の基本項目やヨガ・太極拳など講師の得意分野を取り入れます。また教室やセンターのPR、会員増を図っていきます。

★「駄菓子屋プロジェクト」事業

清瀬市シルバー人材センター

内容

近隣の小学校の児童や保護者、多世代の地域住民と、80歳を超える高齢会員との交流の場として「駄菓子屋」をスタートします。お店には、「きよせ棒（清瀬市限定お菓子）」を目玉商品として、約50種類の駄菓子を販売しながら、熱中症対策の「ひと休みスポット」としても機能。地域の皆さんが気軽に立ち寄れる場所として、笑顔と会話があふれる空間を目指します。

★「ハンドメイド教室」事業

小金井市シルバー人材センター

内容

現在の手工芸班から有志が集まり、得意を活かしてチームを結成。市民や会員からのニーズに応じて、手芸を通して楽しく生きがいをもって活動できる場を目指します。地域の親子や高齢者、特に孤立しやすい80歳以上の方々のコミュニケーションの場としても活用。内容も手芸からスタートし、ゆくゆくはハンドメイド作品へと広がっていきます。

★「『まっCHA』で『まっTARI!』みんなで楽しむ茶道教室」事業

西東京市シルバー人材センター

内容

高齢者の方でも安心して楽しめるよう、椅子を使った「茶道教室」を始めます。また、教室が小学校内にあることから、高学年児童も対象とした放課後の居場所づくりにも貢献。世代をこえた交流の場として、地域のつながりを深めることを目指します。



★「手芸教室」事業

稲城市シルバー人材センター

内容

市民祭などで販売されたトートバッグや布ぞうり、ポーチなどの手芸品に対し、「自分も作ってみたい!」という市民の方々の声を受け、「手芸教室」を開催します。手芸が得意な会員が講師となり、自身の技能を活かして活躍できる場を提供。受講者との交流を通じて、会員拡大のPRにもつながります。

★「板ちょこサロン」事業

板橋区シルバー人材センター

内容

高齢区民のフレイル予防や社会的孤立の支援を目的に、余暇活動や遊戯などを楽しめる多彩なプログラムを展開する「板ちょこサロン」を開設します。サロンでは、フレイル予防に資する運動等の活動や、終活セミナー、栄養講座、語学講座などのカルチャー教室、絵本読み聞かせ講座、健康麻雀などの多彩なプログラムを提供します。

★「おはなしサロン」事業

墨田区シルバー人材センター

内容

朗読と語りの実演(発声練習)を通じて、ココロとカラダの健康を促進し、地域へ貢献。世代・老若男女を問わず、幅広い人々と交流し活躍する場を設けます。また子どもたちへ古き良き墨田の歴史と文化を伝え、地域の伝統継承を図ります。

★「スマートフォン教室」事業

葛飾区シルバー人材センター

内容

会員講師がそれぞれの得意分野を活かして、スマホを敬遠している高齢者をお手伝いします。講座は少しでも使いこなせるように基本操作からアプリまで受講者のレベルに合わせた内容で、今後も講師陣のレベルアップを図り、バリエーションを拡大予定です。



★「多目的サロン」事業

国立市シルバー人材センター

内容

幅広い世代が誰でも気軽に寄れる場として、センターを身近に感じられる地域の交流スペースを目指します。センターの作業所を有効活用して、洋服のお直しや手芸品制作、スマホ・PCのなんでも相談会と多様な活動を展開。また地域に溶け込んだ場所で情報発信することで、受注拡大も目指していきます。

シルバー人材センターの多様な求人開拓の強化

「トライアル就業」の事例紹介 ～調布市シルバー人材センター～

業務内容

社会貢献イベント運営補助

東京フットボールクラブ株式会社(FC東京)では、ホームゲーム開催日にファンやサポーターがスタジアム周辺を清掃する社会貢献イベントを実施しています。この運営を支えたのが、調布市シルバー人材センター会員の皆さんです。受付ブースでの参加者対応、清掃用具の配布、スタンプカードの押印、記念撮影など、円滑な運営に欠かせない役割を担いました。



FC東京は「地域に根ざしたクラブ」を目指しており、年齢や立場を超えて誰もが参加できる活動の場づくりを目指しています。しかし、社会連携活動の場では人手不足が課題となっていました。こうした中で、シルバー人材センターの活用は、地元とシニア層が協力し地域の活性化につながる有効な仕組みと捉えられ、実現されたものです。

参加した会員からは「サポーターと交流できて楽しい」「地域に貢献できるのがうれしい」との声が寄せられ、トライアル終了後も就業が継続されています。

参照: https://silver-trial.jp/casestudy_sp/

適正就業のポイント

就業現場における適正就業確認のお願い

新規契約の際だけでなく、就業現場を巡回する際、契約更新の際などに、適正な状況が継続されているか確認をお願いします。

- 契約書や関係書類は整っていますか？
- 臨・短・軽の範囲を超える就業が、恒常的に発生していませんか？
- 発注者の雇用する労働者との混在就業はありませんか？
- 発注者が、会員に作業内容やシフトを直接指示していませんか？
- 契約書に記載のない仕事内容を行ってしまいませんか？
- 会員の仕事量が、発注者側のペースにより左右され、その日の就業の時間、仕事量を会員ご本人で決められない状況になっていませんか？
- 現金の取扱いがある現場では、適切な取り扱いがされていますか？
- フリーランス法第3条の規定に基づく就業条件明示を「就業条件明示書」又は「会員業務仕様書」によって、センターから会員へ明示していますか？



フリーランス法第3条に基づく会員に対する明示すべき事項

- ① 発注者及び受託者の氏名又は名称
- ② 業務委託をした日
- ③ 就業内容
- ④ 就業日又は就業期間(業務の履行期間)
- ⑤ 就業場所
- ⑥ 給付・役務の内容(業務の内容)について検査をする場合は、その検査完了期日
- ⑦ 報酬(配分金)の額及び支払期日



シルバー人材センター等労働者派遣事業



令和7年度上半期は事業所開設54地区のうち45地区事業所において派遣事業を実施しており、事業実績は以下のとおりです。

会員数、受託件数、就業延人員、契約金額、すべての項目が昨年度より増加しました。

昨年度より伸び率は減少しているものの、着実に受注が進んでいます。

事業所別で見ると、約6割の事業所が昨年より実績増となっています。

労災事故については、上半期は19件でした。昨年同時期が14件だったため、約4割増となりました。

通勤途上の事故は6件で、うち4件は自転車に関係する事故でした。自転車による事故は重篤化しやすいだけでなく、相手にもケガをさせる可能性があるため、利用時には十分注意が必要です。

事故の内訳は転倒が4件と最も多く、例年この傾向は続いており、段差や障害物につまずく事例が多く見られます。また、事故全体で8件が骨折にいたっています。

派遣業務の受注が進み、就業される会員も増加しています。事故防止に努めるとともに、連合と地区事業所とで協力しながら、事業の適正な運営に努めていきます。

	会員数 (人)	受託件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (千円)
令和6年度	10,585	5,238	159,644	1,064,637
令和7年度	11,152	5,692	160,151	1,102,662
増減比	+5.4%	+8.7%	+3.2%	+3.6%

(令和7年9月末現在)

サイバー保険のご案内

サイバー保険とは

情報漏えいリスクのみならず、サイバーリスクに起因する事故が発生した場合における「賠償責任」、「事故発生時の対応費用」、等を総合的に補償する保険です。

賠償責任

下表記載の対象事由①～④の発生に起因して他人に損害を与えた場合の賠償責任・争訟費用を補償します。

他人の損害



事故発生時の各種対応費用

下表記載の対象事由①～④の発生に起因して生じる「事故の調査」から「解決／再発防止」までの諸費用を補償します。

事故対応に要する諸費用



対象事由	概要
①情報漏えい・おそれ	貴団体（被保険者）の業務における情報漏えいおよびそのおそれ
②デジタルコンテンツ不当事由	デジタルコンテンツの使用の結果生じた名誉棄損、プライバシー侵害、著作権または商標権 侵害など
③サイバー攻撃	貴団体（被保険者）のコンピュータシステムに対する不正なアクセスや処理、操作、犯罪行為など
④IT ユーザー業務	上記①～③以外の貴団体（被保険者）の業務の一環としてのシステムの所有、使用または管理に起因する偶然な事由

事故事例

対象事由	概要
①情報漏えい・おそれ	外部からの不正アクセスにより、約42万件の個人情報が流出した。
②デジタルコンテンツ不当事由	ウェブサイトの不適切な記載により、他人のプライバシーや著作権を侵害した。
③サイバー攻撃	マルウェア感染により、13の自動車工場のシステムがオフラインになり、組立ラインで働く50,000人の作業が中断し、生産が50分間停止した。
④IT ユーザー業務	自社の在庫管理システムの不具合により、取引先において商品在庫管理、発注が不能となった。

このご案内は概要を説明したものです。詳細は、損害保険ジャパン社作成パンフレット「サイバー保険」にてご確認ください。

【お問い合わせ先】

東京しごと財団シルバー保険事業室

TEL : 03-5211-2319

MAIL : hoken@shigotozaidan.or.jp

シルバー人材センターに入会しませんか

楽しくて、ためになるイベント・講習会〓絶賛開催中〓

シルバー人材センターの仕組みや魅力について、地域の未会員高齢者等に知っていただくことを目的としたイベント・セミナーを都内各地で展開中です。その一部をご紹介します！

これからシルバー応援フェスタ ～地域とツナガリ、イキイキ動く～

令和7年10月24日(金) 北区 (北区赤羽会館)



講演：人生100年時代を
私らしく生きるコツ

産婦人科医・医学博士・産業医

高尾美穂氏

シルバー人材センターのご案内
北区シルバー人材センター会員の皆様

令和7年10月29日(水) 武蔵野市 (武蔵野スイングホール)



講演：いくつになっても働ける
ことの素晴らしさ

タレント・国際栄養師

麻木久仁子氏

シルバー人材センターのご案内
武蔵野市シルバー人材センター会員の皆様

令和7年11月13日(木) 豊島区 (としま産業振興プラザ)



講演：働くことは、健康と
長生きに繋がる

医師・作家

鎌田實氏

シルバー人材センターのご案内
豊島区シルバー人材センター会員の皆様

令和7年11月14日(金) 日野市 (イオンモール多摩平の森)



講演：医者いらずの健康生活
～元気で働き続けるために～

医師

石原新菜氏

シルバー人材センターのご案内
日野市シルバー人材センター会員の皆様

その他の開催内容

令和7年11月25日(火)
墨田区会場

タレント 毒蝮三太夫氏

令和7年12月3日(水)
大田区会場

タレント 麻木久仁子氏

令和7年12月10日(水)
羽村市会場

タレント 毒蝮三太夫氏

高齢者活躍人材確保育成事業

〈技能講習〉

保育のおしごと

実施日時 令和7年7月11日(金)

場所 わくわくプラザ町田

内容 保育の役割、保育補助の心得、
子どもの遊び等の講義を実施し
ました



〈技能講習〉

プロ直伝!お掃除のコツ

実施日時 令和7年11月7日(金)

場所 板橋区立グリーンホール

内容 ハウスクリーニング作業の基
本、正しい洗剤の選び方・道具
の使い方などの座学と実習等
を実施しました



〈技能講習〉

**暑い季節に食べたい夏中華!
「調理セミナー」**

実施日時 令和7年7月30日(水)

場所 調布市文化会館たづくり

内容 家事援助で行う調理のお仕事
に役立つ調理方法の実演、食食
を実施しました



〈就業体験講習〉

「公園清掃」

実施日時 令和7年10月17日(金)

場所 都立蘆花恒春園

内容 世田谷区SC会員講師による公
園清掃業務の講義と紹介等
を実施しました



令和7年度 会員向け技能講習



東京しごと財団では、シルバー人材センターで就業を希望する会員の方を対象とした講習を実施しています。
令和7年度は、以下の講習を実施します。

職域拡大技能講習（レベルアップ） 5講習実施

コース名	定員 (人)	講習日数 (日)	講習期間	講習会場
襖の張替え 「襖の張替え」の基本的な事柄を再認識し、技術向上を図ると同時に安全で効率よく襖を張替えることができるプロのコツ等を実技で学ぶ	15	3	令和8年 3月3日(火)・4日(水)・5日(木)	東京しごとセンター

※1月以降に募集が行われる講習のみを掲載しています。

就業支援講習（基礎的な知識・技能の習得） 24講習実施

※令和7年度の募集は全て終了しています。

☆令和8年度の募集は、2月下旬以降にご案内の予定です。

お問い合わせ シルバー講習担当係 TEL:03-5211-2326

令和7年度 シルバー人材センター役職員研修 東京都連合の取組について



連合では、理事・監事を対象とした「役員等研修」と、事務局職員を対象とした「職員研修」を実施しています。シルバー人材センター事業の運営に必要な知識・情報を提供できるよう、時機に応じた研修を実施しています。また、受講者アンケートをもとに、毎年度内容の見直しを行い、魅力のある研修となるよう取り組んでいます。

役職員研修実施予定（1月～3月分）

対象	研修名	開催日	内容
職員	総会運営	1月28日(水)	事前準備のポイント
	悉皆研修(第2回)	2月9日(月)	人権・非行防止・個人情報保護
	主事・主任交流会	2月18日(水)	他センターの職員とのつながりを深める。

※開催日は都合により変更になる場合があります。

～研修紹介～ 職員研修「新任職員研修」

新たにシルバー人材センターへ事務局職員として採用された職員を対象として毎年、新任職員研修を行っています。

今年度は、東京しごと財団理事長講話、参加者他己紹介、シルバー人材センターのあらまし説明、グループワーク、先輩職員との交流を行いました。先輩職員として、品川区、板橋区、八王子市、狛江市の職員にお越しいただきました。

受講者からは「他のセンターの同期や先輩と交流する機会があり、自分が悩んでいたことを先輩に聞くことができ、少し気持ちが楽になった」等の声が多く寄せられました。

令和7年度 第1回福祉・家事援助サービス事業担当者交流会を開催しました

令和7年9月18日(木)、第1回の令和7年度福祉・家事援助サービス事業担当者交流会を東京しごとセンター会議室にて開催しました。参加者は23センター24名と多くの方にご出席をいただきました。

午前中は、多方面で介護にまつわる講演や研修等の講師としての実績をお持ちであるxia・わ・せ介護 代表 安藤文代講師をお招きし、「リスクを回避するために言葉をどのように伝えるか考える」をテーマに、「聞く力(内容を正確に理解する力)」「伝える力(相手にわかりやすく届ける力)」をセットで機能させる大切さについてお話をいただきました。

午後は、4班に分かれグループ討議・発表の時間を設けました。事前アンケートにより浮き彫りとなったセンター共通の課題「福祉・家事援助サービスに就業する会員数が少ない」「高齢化が進む中、家事援助の利用者は間違いなく増加する」について、活発な意見交換、具体的な解決策が提案されました。他センターの話を熱心に聞く参加者の姿から、討議時間が足りないと感じたほどでした。

アンケート結果では、講義に関しては、「コミュニケーションの重要性を再確認しました」「先生の経験談も含めまた話を聞きたい」等、また、グループ討議では、「自分一人では気づけないことも、みんなの話を聞くことで視野が広がり大変勉強になりました」「これからの活動に活かせることが多くありました」等、他の方の話を聞いた貴重な機会だった、との声をいただきました。

一方、運営についても参考となる貴重なご意見を頂戴しております。皆様のご意見を反映させ、次回も有意義な交流会となるように、企画してまいります。次回は令和8年2月19日(木)を予定しております。ご参加お待ちしております！



午前中の講演



午後のグループ討議・発表

おしゃれなヘルメット



着せ替え帽子付き自転車ヘルメット「カポル」



自転車先進国
ヨーロッパの
安全基準
CEマークに準拠

冬にぴったりな温かい
素材のタイプもあります！

サイズはS:52-55cm、M:56-59cm、L:59-62cmの3種類
(日本人の頭部形状に合わせた適正サイズ)

カポルは帽子のデザイン性とヘルメットの安全性がひとつになった製品※1です。帽子だけを変えられますので季節や気分に合わせて着せ替えが楽しめます。また、街を歩くときは、オシャレな帽子として自転車に乗るときは安全で快適なヘルメットとして使用できます。

一般社団法人 全日本交通安全協会推奨！

※カポルは公益財団法人 東京しごと財団との共同開発製品です

※1：POCOシリーズおよび一部デザインに帽子機能の無い製品がございます

■お問い合わせ先

株式会社日本パレード

☎ 0120-71-8010

<https://www.nippare.com/capor/>

エイジレス80



これまで、そしてこれから

デジタル技術で、活力ある未来社会の創出へ

シルバー人材センター向け
総合情報処理システム

エイジレス80

シルバー派遣事業向け
情報処理システム

Collabo80+

会員向けクラウドサービス



Smile to Smile

※「エイジレス80」は、東京しごと財団と野村総合研究所の登録商標です。

NRI NRI 社会情報システム
NRI Social Information System Services

〒135-0042 東京都江東区木場1-5-25 タワーS棟
TEL:03-6660-9766 FAX:03-6660-9767
<https://www.nri-social.co.jp>

Emission the value,
Empower the change

シルバー
テキスト

安心で
安全な

令和8年4月1日から自転車の交通違反の取り締まりが大きく変わります

シルバー人材センター

「安全な自転車の乗り方ガイド」

改訂しました

令和8年4月1日から自転車の交通違反に「交通反則制度」が導入されるのを機に、一般財団法人日本自転車普及協会監修のもと、改訂を行いました。4月1日以降、何が変わるのかを解説すると共に、自転車事故の発生状況や、走行上のルール・注意点など、自転車を安全に利用するために知ってほしい内容をコンパクトにまとめた一冊です。

主な内容

- ・はじめに
- ・令和8年4月1日から自転車の交通違反の取り締まりが大きく変わります
- ・自転車による事故の割合が増えています
- ・乗る前のチェック
- ・こんな事故が起きています
- ・走行上のルール・注意点
- ・交差点でのルール・注意点
- ・あなたはこんな危険なことをしていませんか
- ・注意箇所チェックマップを作ろう
- ・身を守るために
- ・絶対にやってはいけないこと
- ・定期点検
- ・ケガをしたり、体に異常を感じたら
- ・日頃の健康管理
- ・シルバー保険



令和7年11月発行
B6判 23ページ
定価209円(税込・送料別)

公益財団法人東京しごと財団(東京都シルバー人材センター連合)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター

TEL 03-5211-2314

URL <https://www.tokyosilver.jp/>

シルバーとうきょうは、東京都シルバー人材センター連合のホームページからご覧いただけます。

個人情報の取扱について

公益財団法人東京しごと財団では、「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)、「個人情報の保護に関する法律について
のガイドライン(通則編)」および関係諸法令等の遵守徹底を図るとともに、個人情報を適切かつ安全に取り扱うため、個人情報保護基
本方針を制定しています。個人情報の取扱の詳細はホームページ(<https://www.shigotozaidan.or.jp/>)または、窓口でご確認ください。

R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用